

須賀川リサイクル資源開発株式会社様が「SDGs宣言書」を策定されました！ ～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、須賀川リサイクル資源開発株式会社様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、対話を通してお客さまのSDGsへの取組状況の確認と、経営課題の見える化を行うことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行企業	須賀川リサイクル資源開発株式会社
代表者	代表取締役 遠藤 誠
所在地	福島県須賀川市森宿字スウガ窪41-1
事業内容	産業廃棄物処理業
企業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●平成26年の設立以来、産業廃棄物処理業者として地域の環境整備に取り組んでおります。 ●「ゼロエミッション」を理念に掲げ、産業廃棄物を路盤材等として再資源化するなど、持続可能な社会づくりに貢献しております。



宣言書を手にする遠藤社長（右）と江口部長（左）



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。



SDGs宣言書

2023年9月13日

須賀川リサイクル資源開発株式会社

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。



私たちの使命
木の幹となり、
次世代へつなぐ。

- 産業廃棄物リサイクルの推進
- 地域社会への貢献
- 雇用の確保

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
環境	埋め立てない時代へ	これまで埋め立てが主流だった産業廃棄物を、適切な中間処理をすることで、「リサイクル資源」として再生。ごみを減らし、環境負荷の低減に取り組めます。	11 住み続けられるまちづくりを、12 つくばないで済ませよう、14 海の豊かさを増やそう、15 陸の豊かさも増やそう
人権・労働	健康診断の実施	残業の抑制に加え、会社負担による健康診断(年1回)を実施し、社員の心と身体の健康を守ります。	3 持続可能な健康と福祉を、8 働きがいのある経済成長を
	働きがいと幸せな会社作り	人を大切に、互いに尊重することで、良好な人間関係を維持。働きがいがあり、お互いに感謝しあえる幸せな会社を作ります。	3 持続可能な健康と福祉を、8 働きがいのある経済成長を、10 人や組織の多様性を尊重しよう
内部管理 組織体制	DXの推進	グーグルドライブの導入により業務の一元化、見える化、効率化に取り組めます。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう、13 気候変動に具体的な対策を
社会貢献 地域貢献	子ども達への教育支援	社員の子供達が教育を受けられるよう、高校卒業までの間、子育て支援手当を支給します。	1 貧困をなくそう、4 質の高い教育をみんなに、10 人や組織の多様性を尊重しよう、11 住み続けられるまちづくりを
	事業を通じた社会インフラ形成	産業廃棄物の受入れと再生砕石の製造を行うことにより、資源を効率的に利用し、持続可能な社会インフラを整備します。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 住み続けられるまちづくりを、12 つくばないで済ませよう、15 陸の豊かさも増やそう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは
「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことで、2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。